



既設のインターホン設備(システム)の更新について

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素はインターホン設備(システム)について格別のお引き立てにあずかり、厚く御礼申し上げます。

さてインターホン設備(システム)は、ご家庭や集合住宅および病院、高齢者施設等でご愛顧いただき、多目的にご活用いただいております。

しかし、設備(システム)は高度化・複雑化され、日ごろの保守・点検をもってしても他の設備機器と同様、その機能と性能の信頼性の維持には、経年的な限界を避けて通ることはできません。例えば、テレビドアホンではスイッチング電源や映像制御回路が搭載され、集合住宅用・病院用インターホンシステムでは、コンピュータ制御回路や他のネットワークとの連動などをおこなって安心・安全を担保しており、更新時期が遅れると不測の事態を招くおそれがあります。

当工業会では主要インターホン設備(システム)について、調査研究等に基づいて考察し、設置後の更新を必要とするおおよその期間を下記のように設定し、期間経過時に設備(システム)の更新をお勧めしております。

敬具

記

1 主要インターホン設備(システム)の更新期間

	主要インターホン設備(システム)	おおよその更新期間
①	一般住宅用(家庭用)インターホン	10年※
②	集合住宅用インターホンシステム	15年※
③	病院用・高齢者施設用インターホンシステム	12年※

※予算計画または長期修繕計画を立案する時に参考期間としてお使い下さい。

設定:2000年10月

※設置後の更新を必要とするおおよその期間であり、品質保証・修復対応等の期間ではありません。

2 期間設定上の条件

- (1)適切な保守の実施により消耗部品等の点検・交換が実施されていることとします。
- (2)設置環境において、風雨、塩分、腐食ガス等の影響を受ける場所、その他著しく環境の厳しい場所に設置される場合、上記の更新期間は短くなる場合があります。
また、インターホン設備(システム)に付随するパソコン、プリンター等は定期交換が必要となり本更新期間の適用外ですので、適宜更新をお願いいたします。
- (3)本調査研究は、各社の過去の修理データを基に統計的処理(ワイブル解析)をおこない、主な部品の耐久性等を検討して、おおよその更新期間を設定したものであり、各設備(システム)ごとに一律適用するものではありません。

3 有寿命部品定期交換のお願い インターホン設備(システム)を日々快適にお使いいただくために

インターホン設備(システム)は、住宅用としては来客の報知、及び防犯上無くてはならない機器として、ご使用いただいております。また、病院・高齢者施設用のものによっては、利用者と医療スタッフ等との必須連絡手段として、不可欠となっています。インターホン機能が必須であればあるほど、ひとたび故障が発生すると、早急な修理・復旧が必要となります。

その一方で、インターホン設備(システム)は、毎日いつでも使用できるよう、内部は常時稼動しております。また、インターホンのシステム内には、UPS(無停電電源)や、スイッチング電源ユニット等、時間の経過とともに劣化・磨耗し、部品メーカーが寿命・交換年数を3～6年、又は何万時間というように定めているものがあります。

これらの「有寿命部品」は、その時間経過した後には、故障に至る可能性が高まります。故障による影響を回避するためには、予防保全として、その年数が経過した「有寿命部品」の交換が必要です。

インターホン工業会では、インターホン設備(システム)の更新が必要な時期まで、快適にお使い続けていただけるよう、この「有寿命部品」の交換推奨年を部品メーカーの公表寿命を参照して下表のように決めました。「有寿命部品」の交換は、この予測できる故障を回避し、インターホンを機器更新の時期まで継続的に、快適にご使用いただくために必要であることを是非ともご理解いただき、保守計画に含めていただきますようよろしくお願い申し上げます。

4 有寿命部品推奨更新年数の目安

区分	対象部品・ユニット	更新年数の目安
1	スイッチング電源	4年
2	UPS(無停電電源装置)本体	6年
3	UPS(無停電電源装置)電池	3年
4	LCDディスプレイ	5年
5	パソコン本体	5年
6	ハードディスク	3年
7	スイッチングハブ(PoE対応含む)	5年
8	冷却ファン(UPS用を含む)	3年
9	プリンタ	5年

- ・上表は、各部品・ユニットのグレード、使用条件、システム構成状況、等によって変動するため、おおよその交換時期を示すもので、この期間の動作を保証するものではありません。インターホンメーカーが特に指定している場合は、それを優先します。
- ・上表のLCDディスプレイはパソコン等の連続使用するものを指し、テレビドアホンに内蔵しているものは対象ではありません。
- ・有寿命部品以外の部品・ユニットも経年劣化は発生し、故障する場合があります。
- ・LCDディスプレイの寿命とは、明るさが1/2以下になったことをいいます。
- ・冷却ファンの寿命とは、回転数が30%以上低下したことをいいます。

●お問い合わせ先／一般社団法人 インターホン工業会

〒141-0032 東京都品川区大崎3丁目1番5号
ルミネ五反田第二2階205号
電話 03(3492)0719 FAX 03(3492)1680
URL <https://www.jiia.gr.jp/> E-mail info@jiia.gr.jp